

令和6年度第2回定時理事会議事録

1 開催日時 令和7年3月21日（金曜日） 午後13時30分から午後15時15分まで

2 場 所 公益財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階

3 理事の現在数 6名

4 出席理事の数及び氏名 6名 マリ クリスティーヌ
松井 真司
押味 亜希子
近藤 倫生
鳥田 浩平
矢崎 理恵

5 出席監事の数及び氏名 1名 有我 康子

6 議 長 マリ クリスティーヌ

7 議事録署名人 マリ クリスティーヌ
有我 康子

8 決議事項

- 第1号議案 令和7年度事業計画書及び収支予算書等承認の件
- 第2号議案 職員就業規則一部改正の件
- 第3号議案 職員給与規程一部改正の件
- 第4号議案 財産管理規程一部改正の件

9 報告事項

- ・理事長及び常務理事の職務執行状況について
- ・包括外部監査の実施報告について
- ・定期立入検査の実施報告について
- ・資金運用規程に基づく報告について

10 議事

(1) 開会

冒頭、本会が定足数を満たし、理事会として有効に成立していること及び定款第4条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び監事が記名押印することの報告があったのち議事に入った。

(2) 議案説明

ア 「令和7年度事業計画書及び収支予算書等承認の件」に資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、以下の発言があった。

(意見・質問)

- ・令和7年度予算案について、減額となった理由を教えてください。

(回答)

- ・令和6年度予算と比較して、ウクライナ避難民の対応が減少したことやT-NETsの構築が完了し、運用に移ったことなどが主な理由である。

(意見・質問)

- ・寄付の受入について既に開始しているかどうか教えてください。

(回答)

- ・まだ開始していない。令和7年度に策定する中長期計画と合わせて具体的な検討を進める。

(意見・質問)

- ・令和7年度から開始される伴走支援サポート事業と応援キャラバン事業の関係性について教えてください。また、町会自治会に対して金銭的な支援があると良いと考えるが、いかがか。

(回答)

- ・応援キャラバン事業は、3年間のパイロット事業であり、これまで計9区市を対象に行ってきた。テーマはデジタルや防災など。町会自治会の課題を区市町村が伴走支援できるように財団としても支援してきた。令和7年度から実施予定の伴走支援サポート事業においては、範囲等を拡大し、切れ目がない支援を引き続き実施してまいりたい。
- ・金銭的な支援は東京都が中心となり、行っている。財団は、手段やノウハウ等を提供が中心である。

イ 「第2号議案 職員就業規則一部改正の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

ウ 「第3号議案 職員給与規程一部改正の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

エ 「第4号議案 財産管理規程一部改正の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

(3) 決議

議長が、第1号議案から第4号議案まで一括で決議を求めた。この結果、異議はなく、全議案について出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

11 報告事項

- ・ 理事長及び常務理事の職務執行状況について

上記について、資料に基づき理事長及び常務理事から報告を行った。理事長及び常務理事による説明の終了後、特に意見はなかった。

- ・ 包括外部監査の実施報告について
- ・ 定期立入検査の実施報告について
- ・ 資金運用規程に基づく報告について

上記について、資料に基づき事務局から報告を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

12 その他

事務局から財団広報の取組について報告を行った。事務局による説明の終了後、以下の発言があった。

(意見・質問)

- ・ 広報のターゲットについて在住外国人が含まれていない理由はなにか。
- ・ つながり創生財団は様々な事業展開をしているが、それがかえって伝わりづらくなっている。例えば、テーマを決めて、広報することも一案。

(回答)

- ・ 今年度は、財団の存在や取組を知ってもらうことで、自分たちが住む地域の課題に対して目を向ける都民がさらに増えることや、関連団体の実施する取組を少しでも多くの人に知ってもらいたいという理由から、中間支援組織として広範なターゲットに対して広報展開を実施した。さらに、これらのターゲットに広報を行うことで、共助と多文化との融合という点についても期待している。
- ・ 在住外国人への広報という点では、ナビのフリーダイヤル等の広報についてエスニッ

クメディア等を通して実施したところ。

(意見・質問)

- ・広報はこちらが届けたいことをどう相手に届けるのかという悩みはどの組織にもある。良い広報をどうやって持続させていくかという点で、財団が行っているインナーブランディングの取組はとても素晴らしいと考える。

(回答)

- ・職員の認識が合わなければ、持続的な広報は難しいと考えている。キービジュアルやキャッチコピーの策定にあたっては、職員間のワークショップ等を開催した。課を超えて、財団の存在意義などについて議論を行えたことはとても良い成果であった。

(意見・質問)

- ・地域と外国人の関わりについて、防災事業は特に重要なテーマ。地域に住む外国人が防災訓練に参加するなど地域との関わりを深められると良い。外国人が地域になじめるような体制づくりを行っていただきたい。

(回答)

- ・町会自治体の存在価値として防災は重要なテーマである。町会自治会のアンケートでも防災は特に必要とされていた。防災をきっかけとして、様々な人を巻き込みながら地域を活性化していければと考えている。

(意見・質問)

- ・ハローワークや総合病院など外国人がたくさんいるような場所でも、まだまだ外国人向けの案内が少ない印象。外国人がたくさん来る場所に財団のポスターがあったら良いのではないか。また、財団の広報物に QR コード等を掲載して、事業に繋ぐような仕組みがあると良い。

(意見・質問)

- ・町会自治会について、若い人や子育て世代が町会自治会に加入していくことに加えて、それぞれの持つコミュニティを活性化していくという考え方もある。

13 閉会

以上をもって議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和6年度第2回定時理事会を終了した。